

マクロが記録されたブックを Word で開いた場合、デフォルトではセキュリティの警告が表示されてマクロが無効の状態ではブックが開きます。このマクロに関するデフォルトの動作について、トラストセンター(旧セキュリティセンター)で設定を変更することができます。

ここでは Word のトラストセンターでマクロの有効化に関するデフォルトの設定を変える方法について解説します。

目次

[トラストセンターを開いてマクロに関する設定を行う](#)

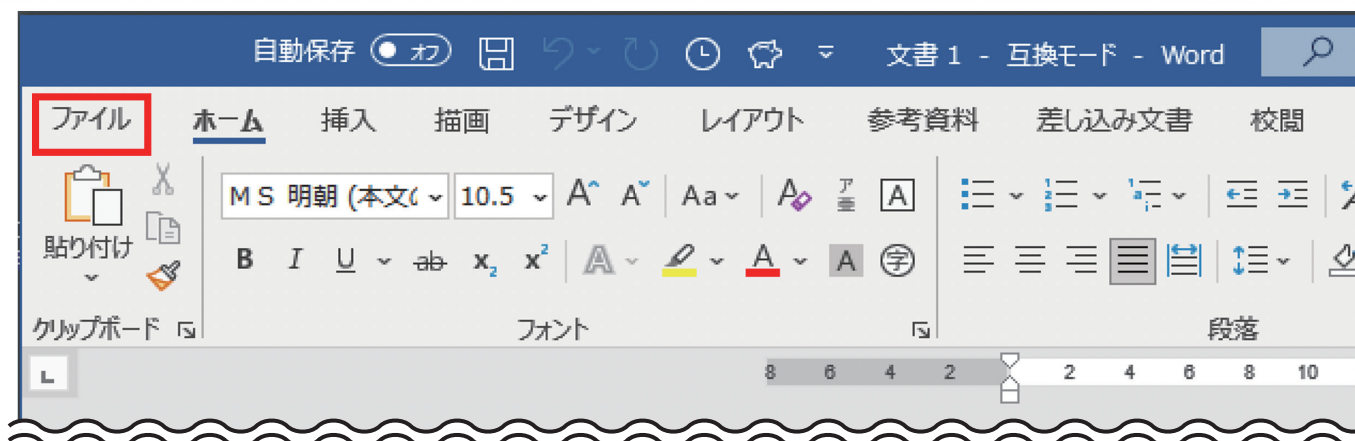
[警告してVBAマクロを無効にする](#)

[信頼できる場所を設定する](#)

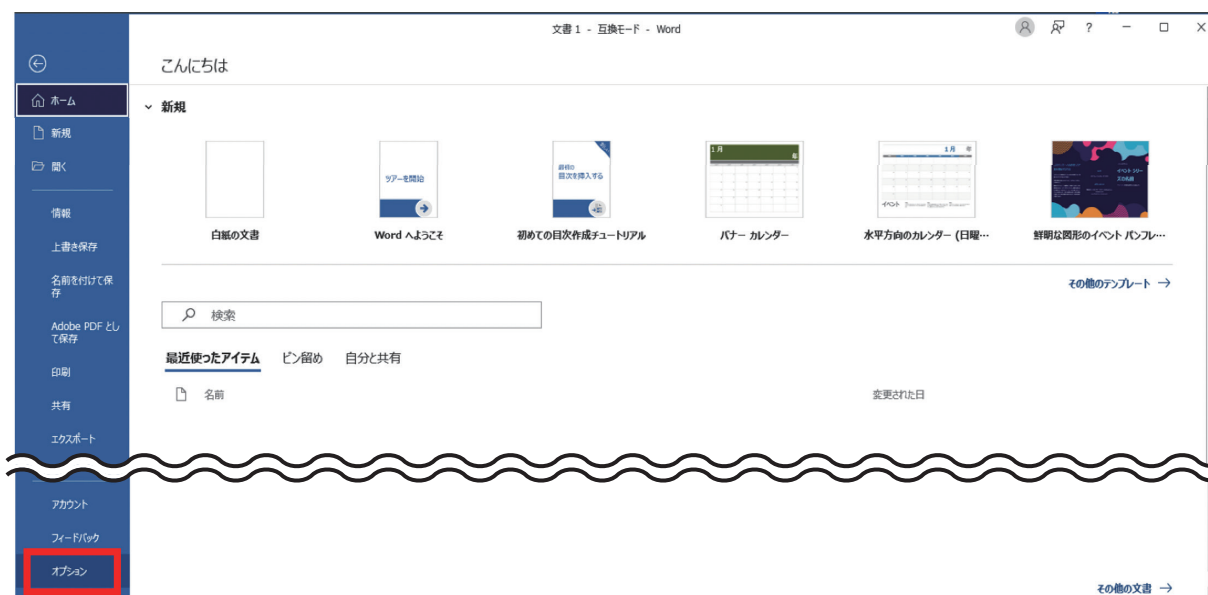
[信頼済みのドキュメント](#)

トラストセンターを開いてマクロに関する設定を行う

マクロが含まれる書類を開いたときのデフォルトの動作を設定するにはトラストセンターから行います。「ファイル」タブをクリックしてください。



画面左下の「オプション」をクリックしてください。



「Word のオプション」ダイアログが表示されたら「トラストセンター」をクリックしてください。



「トラストセンターの設定」をクリックしてください。



「トラストセンター」ダイアログが表示されます。「マクロの設定」をクリックしてください。

警告してVBAマクロを無効にする



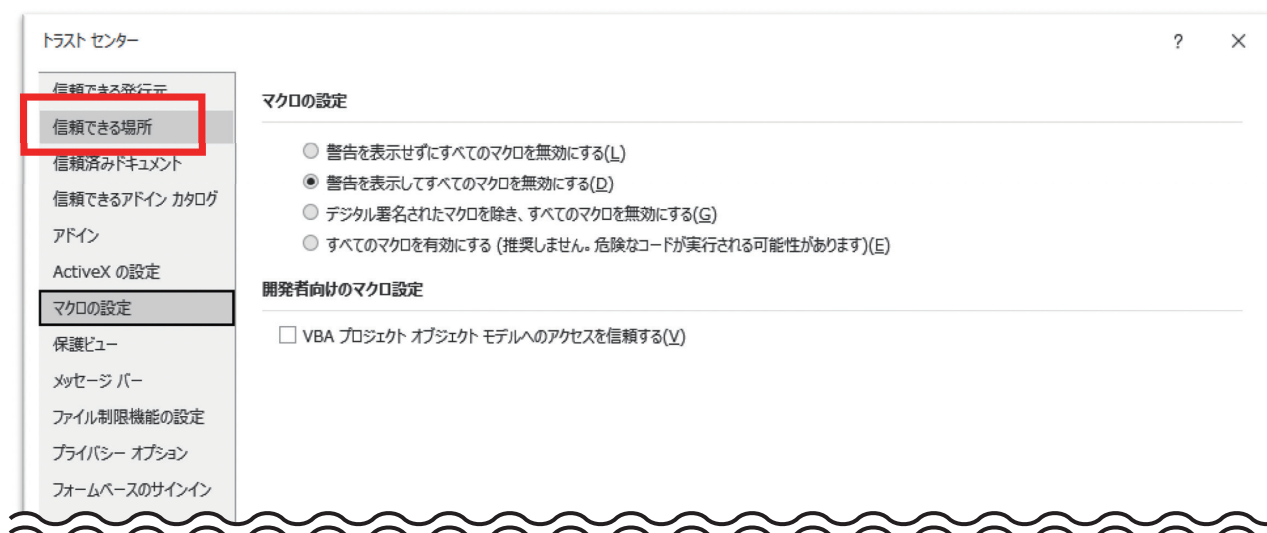
「マクロの設定」から、「警告を表示して全てのマクロを無効にする」が選択されているかご確認ください。

信頼できる場所を設定する

マクロ付き書類の保存先をマクロを実行可能な場所に設定します。一般的にはデスクトップなどを設定しますが、デスクトップ以外でも設定は可能です。ここではデスクトップを「信頼できる場所」に設定する方法を記載しますが、ほかの場所を指定したい場合は、その場所に読み替えてください。

ネットワーク越しの場所、例えば社内サーバやクラウド上の場所なども設定可能ですが、推奨されないためここでは説明しません。

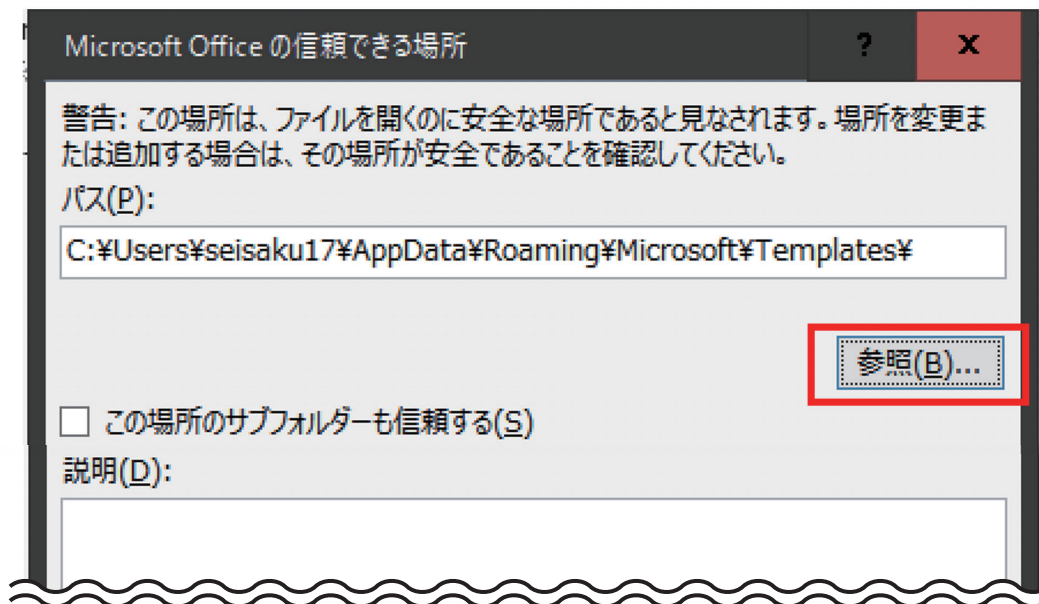
「トラストセンター」ダイアログの「信頼できる場所」をクリックしてください。



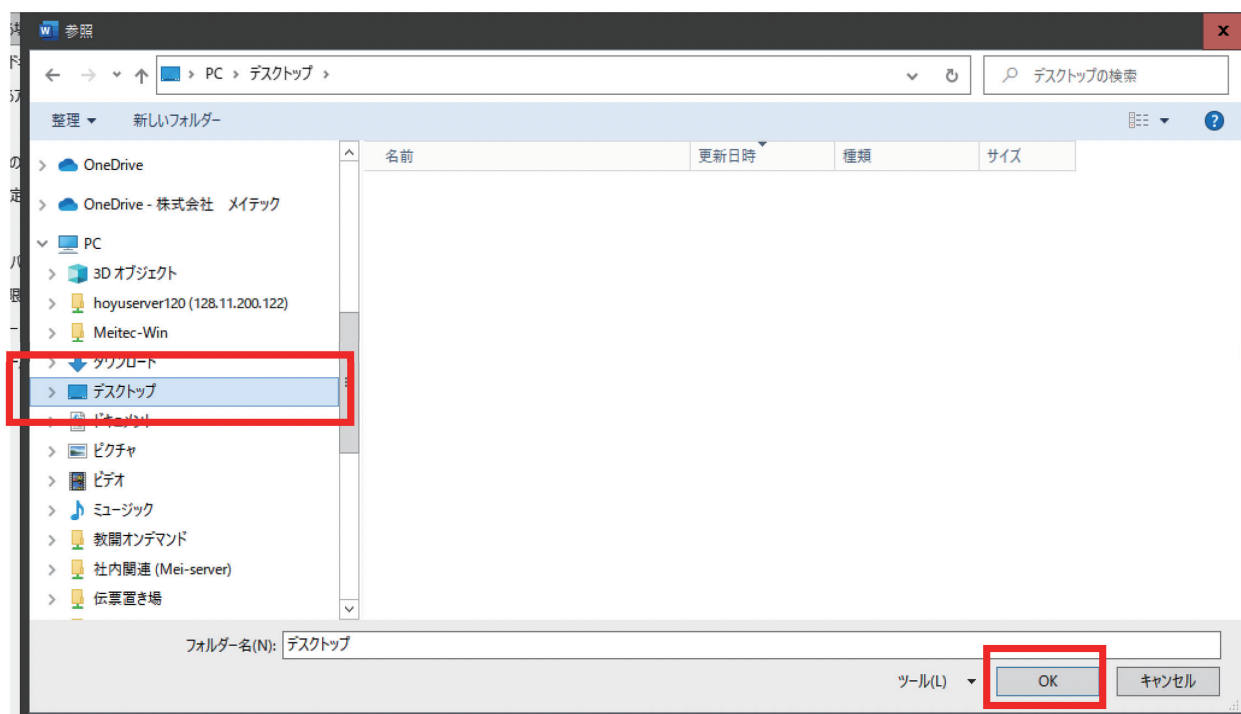
「信頼できる場所」から「新しい場所の追加」をクリックしてください。



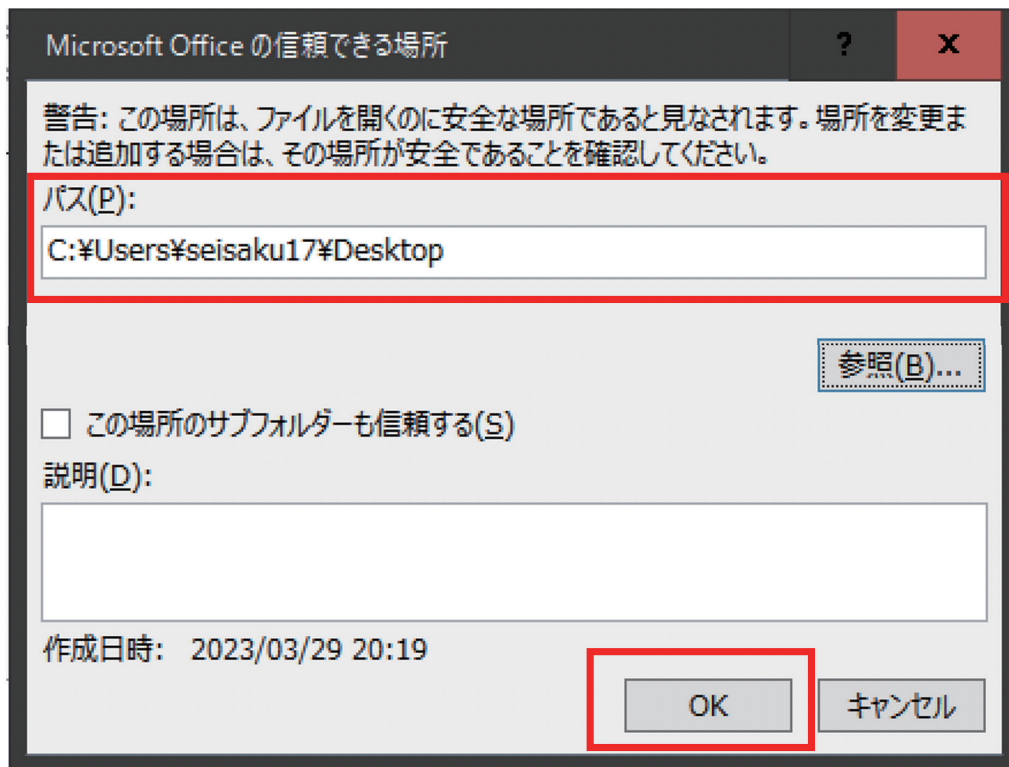
「Microsoft Office の信頼できる場所」から「参照」をクリックしてください。



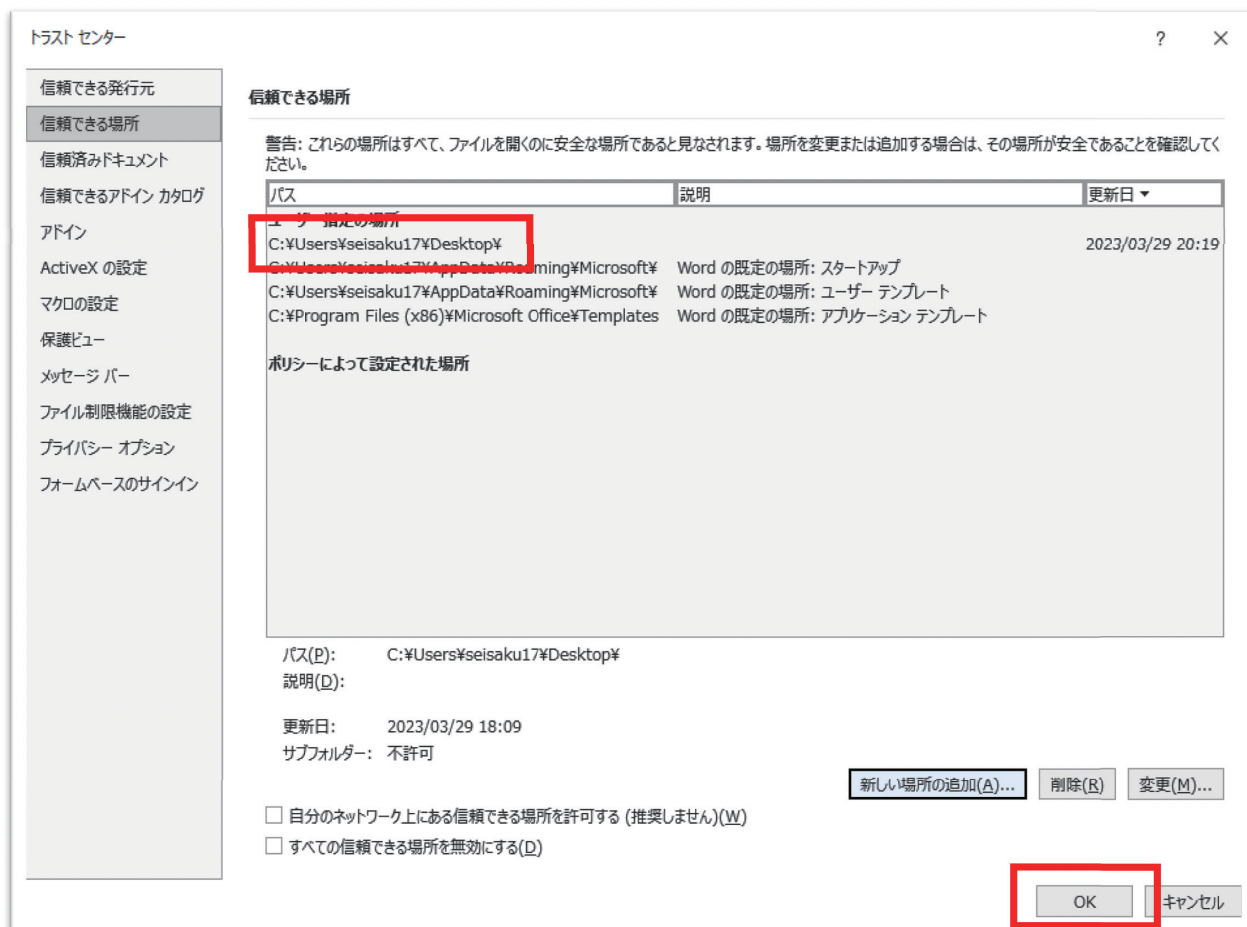
「参照」画面から「デスクトップ」を選択し、「OK」をクリックしてください。



パスに「デスクトップ」が記載されていることを確認し、「OK」をクリックしてください。

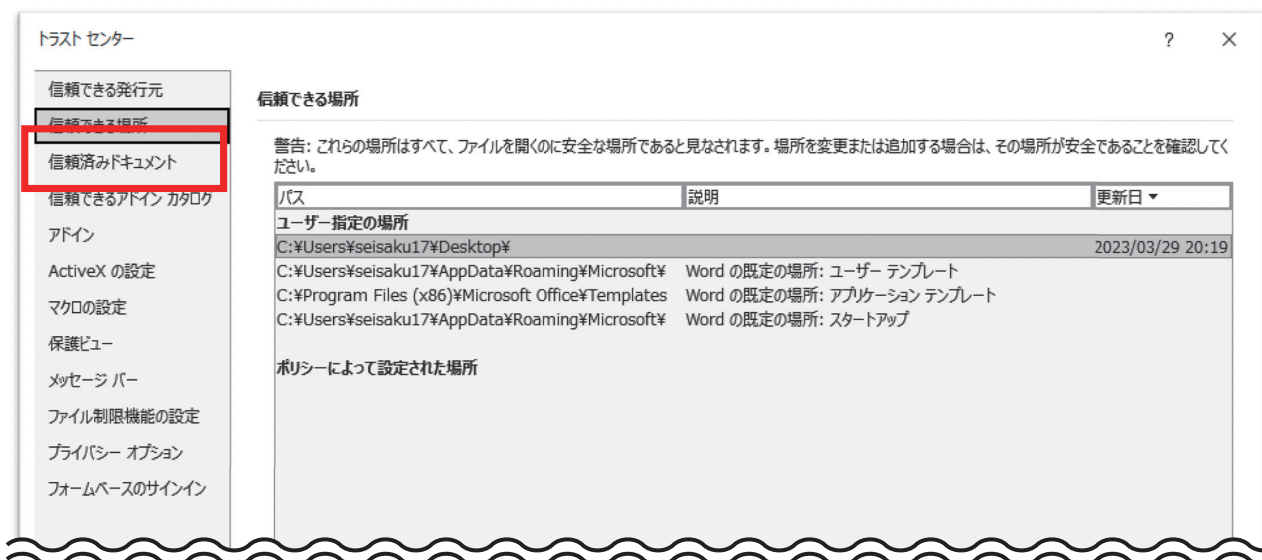


「信頼できる場所」に「デスクトップ」が追加されていることを確認し、「OK」をクリックしてください。

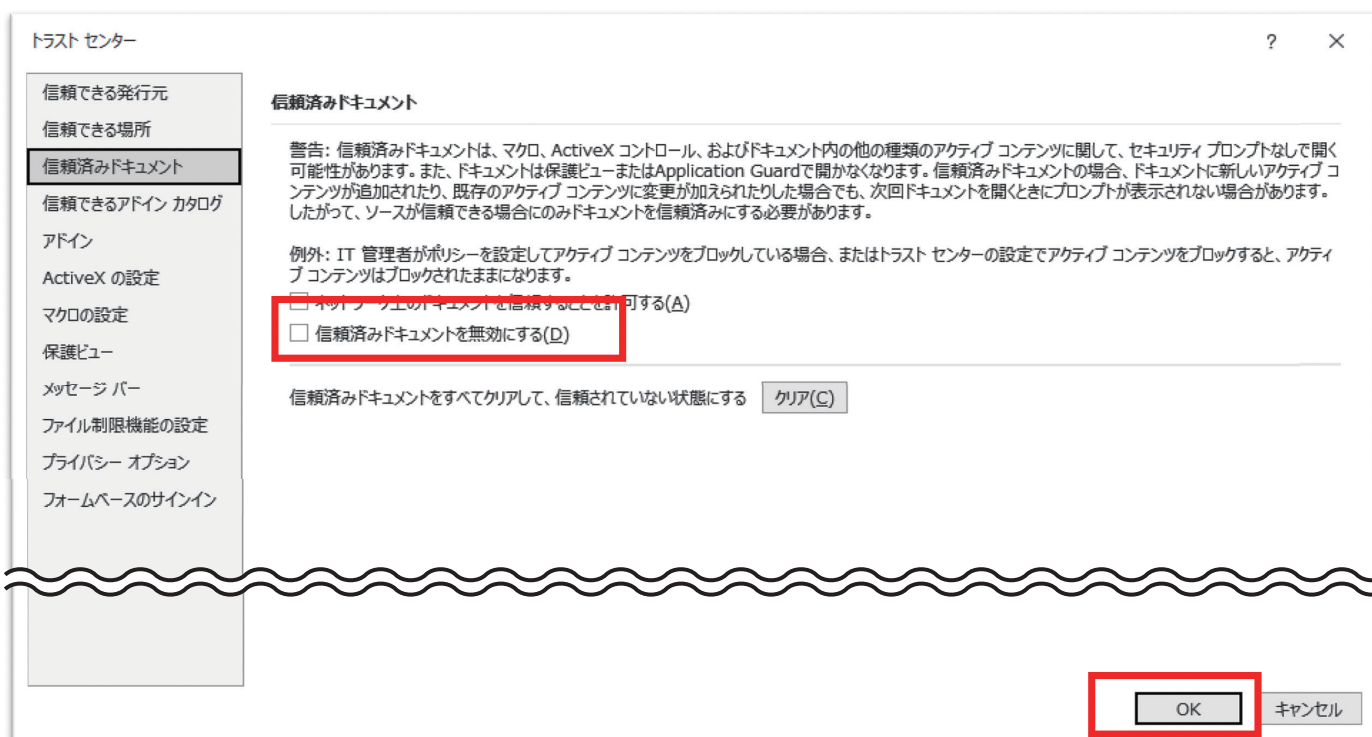


信頼済みのドキュメント

マクロを実行するため「信頼済みのドキュメント」の設定をします。



「トラストセンター」ダイアログの「信頼済みのドキュメント」をクリックしてください。



「信頼済みのドキュメント」の「信頼済みのドキュメントを無効にする」にチェックが入っていないことを確認して「OK」をクリックしてください。チェックが入っている場合はチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

以上でトラストセンターを開いてマクロに関する設定をする作業は終了です。

上記設定で、デスクトップにあるマクロ付き書類は無制限で実行できるので、悪意のあるマクロ付き書類の実行などには十分注意してください。